

共にしあわせ産みだす党 日本共産党 市議団ニュース

第1982号 2021年04月25日
日本共産党 根室市議団
根室市宝林町4-203 TEL0153-23-6023

新型コロナウイルスワクチン 在宅等の65歳以上の方は、 5月18日から接種開始の予定



新型コロナウイルスのワクチン接種の根室市における予定について、私達にも様々なご質問を頂くことが多くありました。これまでに市対策本部会議で示された内容をお知らせします。(4月19日の段階での予定です)

65歳以上の方は4月26日に予約開始、接種開始は5月18日から

市の予定では、まず高齢者施設等の入所者とその職員に4月末～6月にかけて接種します。

在宅の65歳以上の方は、接種券が入った封筒が市から届いた後、電話等で予約します。接種会場は市総合文化会館です。地域ごとに無料バスも運航するそうなので、バスが走る日に合わせて接種日を予約すると便利かもしれません。

なお電話予約ですが、報道では全国各地でコールセンターに繋がりにくい場合も起きています。インターネットでも予約できるので、ご自分がパソコン等を使わない方は、お知り合いに頼んでも良いかもしれませんね。

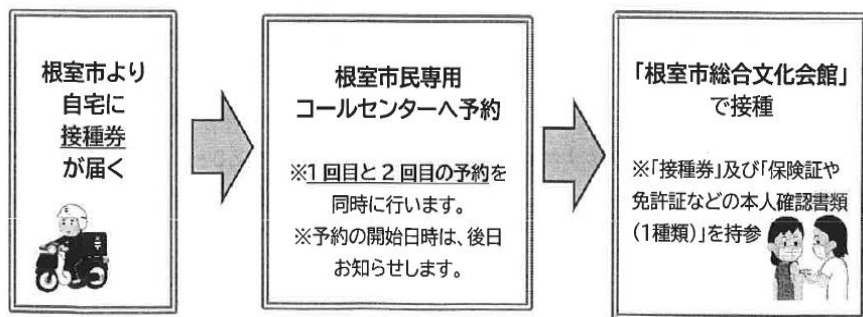
16歳～64歳の方は、7月以降の接種開始か？

それ以外の16歳～64歳以下の方については、6月ごろに接種券を郵送。実際の接種開始は7月頃から開始と予定されています。その中でも基礎疾患を有する方、60歳～64歳の方が、優先して接種していく形になります。

ただし国の指示やワクチン供給量が実際にどうなるのかによって、スケジュールは変更になる可能性があります。



◎ワクチン接種までの流れ



根室市の対策本部会議の資料から抜粋

ワクチンの副反応が出たらどうしよう？

ワクチン接種後に比較的起きやすい症状として、発熱のほか頭痛、疲労、筋肉痛、悪寒、関節痛などがあるそうです。厚労省ホームページでは、必要に応じて市販の解熱鎮痛剤を使用するなどして様子を見るように呼びかけています。

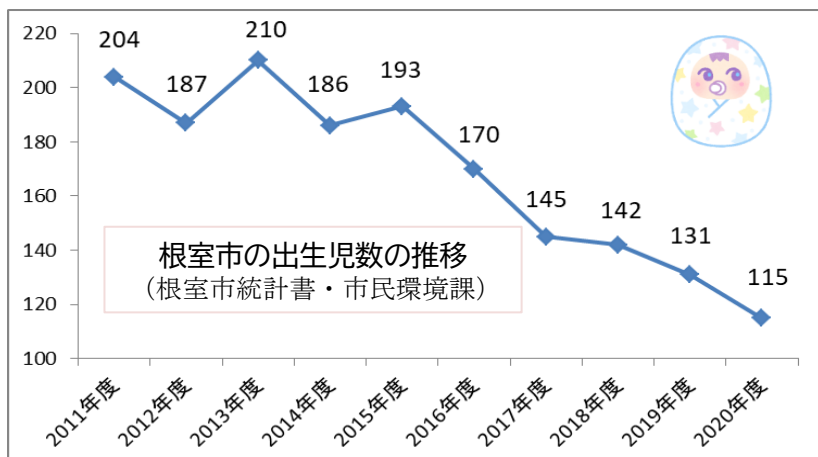
ただし2日以上熱が続く場合や、症状が重い場合、ワクチンでは起こりにくい症状(咳や咽頭痛など)がみられる場合は、医療機関等への受診や相談が推奨されています。

北海道新型コロナウイルスワクチン接種相談センター
0120-306-154 (9:00～17:30まで)

2020年度 根室市の出生数は115人に

昨年度に国は新型コロナウイルス感染症への緊急経済対策として一人10万円の特別定額給付金を支給しました。ただ、国の基準では4月27日以降に生まれた子は給付の対象とならないため、日本共産党の鈴木一彦市議が市独自に対応するよう議会で求め、市は昨年度末まで独自給付を行いました。担当課の取りまとめによると、根室市に住民登録した児は4月28日～翌3月31日まで108人に計1,080万円給付したそうです。

ところでこの数字をみて少し驚いたのですが、根室市では昨年度の出生数は115人でした。2019年度に比べて16人減少しています。これが新型コロナの影響かどうかは不明ですが、グラフに並べてみると根室の少子化がますます進んでいることが実感されます。



障がい者の家族等(介助者)へタクシー代等が助成されます

根室市ではこれまで身体障害者1級・2級の方等に対し、社会参加と地域移行促進を目的に、タクシーチケットやバス券の支給(年1万8000円)を行ってきました。

この制度について他会派の議員さんが市議会でも取り上げ、市は今年度から対象を拡大しました。「日常的に利用者の介助を行っている親族(介助者)が、利用者によって買い物を助成する」という形です。

介助者の経済的な負担を軽減するために、制度が拡充されたことは大変に素晴らしいことだと思います。



仕組みは償還払い方式です。介助者が買い物に利用する場合に利用したタクシー領収書と買い物レシートを添付して市役所に申請することで、タクシー代が後日清算されます。本制度の詳しい利用方法について、市役所社会福祉課までお問合せ下さい。

ただ一方で、この償還払いの仕組みについて「煩雑で分かりにくい」「申請のために都度、市役所に行くのが大変」という声もあります。制度の主旨や目的として大変有効な施策ですが、今年度から新たに始まったばかりです。これからも利用状況や実態を分析しながら、必要な人にとって、出来るだけ利用しやすい仕組みとなるようさらに検討していくことが大切と考えます。